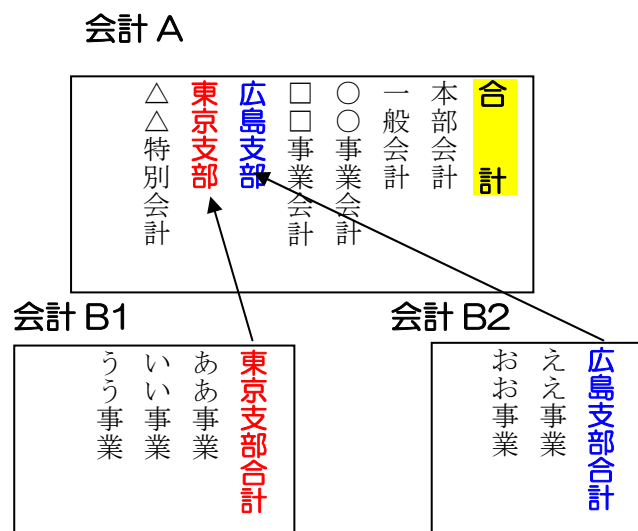


階層集計について

[有限会社シンシステムデザイン](#)

社会福祉法人会計・学校法人会計・公益法人会計・労働組合会計・収支会計の各会計では次のモデルのような階層集計が出来ます。



階層集計の方法

- 階層集計を行うには**すべての会計が統一された同一の科目**であることが必要です。
そのためにはまず、もともになる会計ソフトを起動して部門登録の画面に入りますが、部門名は登録しないで科目の雛形を選び、実行ボタンを押すと勘定科目の設定画面になります。科目設定が終わったら会計ソフトを終了します。

- 会計ソフトのフォルダを次のように3つコピーしてそれぞれ次のような名前をつけます。



会計 A を親会計 会計 B1 B2 を子ども会計とします。

- 会計 A の部門登録画面を開いて、下記例のような部門を設定します。同様に会計 B1,B2 についても部門を登録します。

code	会計の名称
0	合計
1	一般会計
2	〇〇事業会計
3	◇◇特別会計
4	広島支部会計
5	東京支部会計
6	
7	

- 会計 A、会計 B 1、B 2 では、それぞれの会計を行う。
ただし、会計 A において、上記の広島支部、東京支部には **B 階層の合計**が入るので、伝票入力はしないでください。
- 階層集計を行う前に、B1、B2・・・の各 B 階層で必ず合計処理を行なってください。【重要】
- 併合処理のソフトを起動して、下記の設定をする。
この部分に、**会計 A のデータフォルダのパス名**を設定する。
この部分に、**会計 B 1 及び 会計 B 2** のパス名 (**実行プログラムがある場所**) を設定する。

階層集計のための併合処理 (B階層からA階層へ)

A階層のデータフォルダを指定します。(例) C:\¥○○会計C2\¥200Xnen¥

C:\¥会計A\¥2006nen¥

Aが上位階層、Bが下位階層です。この処理を実行する前にB階層の合計処理を行ってください。

codeと部門名には上に指定したA階層フォルダが自動表示されます。
併合処理をする部門のデータパス名にB階層のプログラムフォルダを指定してください。例)C:\¥○○会計C2

code	部門名	データパス名
1	一般会計	
2	○○事業会計	
3	□□事業会計	
4	広島支部	C:\¥会計B1¥
5	東京支部	C:\¥会計B2¥
6	△△事業会計	
7		
8		
9		
10		
11		

必ずバックアップを取ってから行ってください。

実行

閉じる(C)

- 実行ボタンを押して、終わったら終了する。
この操作で、B 階層 (会計 B1、B2・・・) の合計は A 階層の一つの部門として併合されます。

【注意】

- データパス名の設定を間違えると、データが上書されて元のデータが失われますので、必ずデータのバックアップコピーを取ってから実行してください。